

外国語コンテスト講評
フランス語部門

2014年度の外国語コンテストフランス語部門は11月27日(木)に名古屋校舎のL802教室にておこなわれた。22名の学生が応募してくれたが、当日、1名の学生が体調不良により欠席したので、21名で練習の成果を競うことになった。

今回のコンテストは1年生18人、3年生1人、4年生2人と1年生がたくさん参加してくれたのは喜ばしいことだが、上級生の参加者が少なかったことが悔やまれる。上級生にはぜひとも下級生に学習の成果を披露していただきたいと思う。

課題はジャック・プレヴェールのバルバラ(Barbara)という詩の朗読を選んだ。戦争の悲惨さや悲しさを描いた名作である。予選では1年生は第1段落、2年生以上は第1段落と第2段落を朗読してもらい、決戦では1年生は第2段落、2年生以上は第3段落を朗読してもらった。

審査は国際コミュニケーション学部のラッセン先生にお願いしたが、予選段階から選抜に困るほどの学生諸君の頑張りであった。最終的には21名中8名が決戦に進んだ。

決戦も非常に難しい審査となったが、5名の学生を選び、健闘をたたえることにした。

- 1位: 国際コミュニケーション学部3年 浅野 俊也
2位: 法学部4年 高瀬 裕介
3位: 経済学部1年 鳥井 優奈

1位の浅野君は3連覇中の高瀬君を破っての初優勝であり、練習の成果が十分にうかがえる、完璧な朗読であった。2位の高瀬君は残念ながら4年連続の優勝は逃したが、底力を十分に発揮してくれた。3位の鳥井さんは1年生とは思えないほどの優れた発音で、これからさらにフランス語力が伸びることを感じさせる素晴らしさであった。なお、4位には法学部1年生の國分望さん、5位には経済学部4年生の加藤奈央さんが選ばれて、ラッセン先生も順位をつけるのに苦労されるほどの僅差であった。

新名古屋校舎でのコンテストも3回目となり、学生諸君の意欲と能力も年々高くなっているように感じている。学年を問わず、今後ともぜひとも学生諸君の積極的な参加を期待したい。(中尾 浩)